

## 令和6度 第5回四條畷市下水道事業経営審議会

### ＜会議録＞

開催概要		
■日時	令和7年2月20日（木） 10:00～11:00	
■場所	四條畷市役所東別館2階 201会議室	
■出席者	審議会委員	川原尚子委員、熊谷樹一郎委員、久保田素子委員、 中田善規委員、歌門敬子委員、岡田美紀委員
	事務局	四條畷市都市整備部 足立部長、木邨次長、山田課長、永山課長代理兼主任、西村主任 矢倉主査
	(コンサルタント)	税理士法人 森田会計事務所
■傍聴者	0名 / 定員10名	
■議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 開会</li> <li>・ 2 パブリックコメントの結果について</li> <li>・ 3 四條畷市下水道事業経営戦略（案）について</li> <li>・ 4 閉会</li> </ul>	
■資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 資料1 パブリックコメントの結果について</li> <li>・ 資料2 四條畷市下水道事業経営戦略（案）</li> </ul>	

議事詳細	
<b>1 開会</b>	
事務局(司会)	<p>それではただいまより、令和6年度第5回四條畷市下水道事業経営審議会を開催いたします。</p> <p>本日の審議会の出席状況についてご報告いたします。</p> <p>本日は先ほど冒頭にもございましたが川口委員の方体調がすぐれないということで、総勢7名のうち6名にご出席いただいております。</p> <p>規則の方で定めております、委員の過半数のご出席要件を満たしておりますので、本審議会が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>そうしましたら本日は、議事を進めさせていただく前に、本年1月に新たに就任いたしました。</p> <p>銭谷市長の方から皆様にご挨拶させていただきたく存じますのでよろしく願いいたします。</p> <p>市長、お願いいたします。</p>
市長	<p>おはようございます。改めまして四條畷市長の銭谷翔です。</p> <p>昨年のですね12月に市長選挙行われまして、市民の皆さんのご期待とご信任を賜りまして、当選の縁をいただきました。</p> <p>その中で1月20日をもちまして、第6代四條畷市長に就任いたしました。</p>

<p>事務局(司会)</p>	<p>これからもですね、今まで続けてきた市民中心のまちづくりを継承しながら街を発展させていきたいと思っておりますので今後ともよろしく申し上げます。</p> <p>さて、この下水道経営審議会も、今回第5回目ということで聞き及んでおります。</p> <p>この委員の皆様におかれましては、公私の大変ご多忙の中ですね、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>厚く御礼申し上げます。</p> <p>またこの度はですね四條畷市下水道経営審議会委員をお引き受けいただきまして、重ねて御礼申し上げます。</p> <p>さて、本市の下水道事業につきましては、これまでのですね、本審議会において、皆様にご審議いただきました通り、将来的には収支ギャップが生じることとなっております、非常に厳しい経営状況に直面しております。</p> <p>そのような中ですね、将来持続可能な下水道事業運営に向けて、多種なご意見をちょうだいする中で、現在の経営状況や今後の経営改善の取り組みなど、しっかりと取り組んでいきたいと、そういう方向性を立てるまとめる段階まで進んできておりますので、今年度のですね、審議は今回最後となる予定ですが、引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>結びとなりますが、本日の会議が、皆様のご理解とご協力により実り多きそうした場となりますことをご祈念申し上げまして、甚だ簡単ではございますけれども、冒頭の私からのご挨拶とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>市長におかれましては、このあと公務の都合で退席させていただきますのでご了承いただきますようお願いいたします。</p> <p>それではこれよりご審議のほうお願いしたいと存じます。</p> <p>審議会規則の第三条第1項の規定により会長が議長になると定めておりますので、これより会長に議事の進行をお願いしたいと存じます。</p> <p>川原会長よろしくお願いたします。</p>
<p><b>2 議 事 ( 1 ) パブリックコメントについて</b></p>	
<p>川原会長</p>	<p>それでは、早速ですが議事に入りたいと思います。議事(1)のパブリックコメントの結果についてですが、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>＜「資料1 パブリックコメントの結果について」を説明＞</p>
<p>川原会長</p>	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、これについてご質問やご意見がございませんか。</p> <p>それでは私の方から感想を少しなんです、6ページのパブリックコメントでご意見の中に、(2)のところですね、下水道使用量に維持費、資本費の全部を算入する自治体が7%にすぎずという記述がございます。これは下水道事業会計の仕組みから言いますと、本市の扱いが何かイレギュラーな訳ではなくて</p>

	<p>非常にまっとうな処理であるということをもまずは申し上げたい。それから国の方でこの下水道使用料の料金算定と原価についての考え方の見直しが行われているなかで、従来のやり方では今後破綻するということが明らかなために、従来であれば、これは固定費、これは変動費ということで色々原価を考えていたということですね、何とかして現状の事業運営をしながら将来につけを回さないための計算の仕方、それ自身の見直しをしている時期なんです。それを考えると、調査ではこうだからというのはいかがなものかというのが私の感想でございます。やはり見直しの時期があり、今後一層将来の世代につけを回さないような原価の計算の仕方や、それから料金算定の仕方について我々も勉強しながら何か意識を持っていくという方向性もあるのかなと思います。ほか皆様いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>私も感想で。意見ありまして、やはり高齢の方とかいらっしやって急に 18%上げるというのは厳しいということで、私も個人的に水道代、すみません、1万4千円ぐらいきました。動物いっぱい飼ってるので使ってる分は仕方ないんですけど、抑えることもできないですし、水は必需品で、洗濯とかも貯めてとなると不衛生ですし、その都度その都度とかしてるんですけど、もしこの意見の方々に寄り添うのであれば、6 ページのところの 18%が大幅というのであれば、ちょっと下げて、数字を 10 とかにしたら意見も変わってくるのかなと。でも結局は赤字経営になるわけですからもう 1 回上がることになるんですけど、そうなると別の方から 2 回もとか言って。意見の方も自分らの言いたいことをおっしゃっているんで、なるべく上げてほしくないとか、こういったところであがってくるので、これも貴重な意見かなと思うんですけど。貧困の方のお金の中でやりくりで、やっぱり大変だなと今回の意見を聞いて、ちょっと心苦しくなりました。以上です。</p>
<p>川原会長</p>	<p>はい。ありがとうございます。 ほかいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>私は歌門さんの意見も理解できるんですが、埼玉の映像を観てしまっているので、ああいうことが起きない為にはどうしても値上げが必要だと考えています。パブリックコメント拝見させていただきましたら、やはり値上げって部分に関して、ちょっと私もわかりにくい場所が意見の中であるのですが、こうやって値上げに反対意見っていうのが出てくるんだなって、安易に値上げに賛成っていう自分に少し反省はしておりますが、でもどうしてもやはり値上げは必要だと市民の意見として考えています。ところどころ 18%から変更する可能性はあると書かれていますが、経営戦略案にもあったと思うんですが、やはり 5 年後赤字に転落するんでしたら最低ラインは 18%だったかと思いますので、そこを値上げに反対意見があるからと言って低く設定するとまたさらにこういう会を開いて値上げをしないとイケないっていうことになるのでそこはあまりぶれな</p>

<p>委員</p>	<p>い方がいいのかなと、市の為にも、つけを残さない為にもそこは維持すべきかと思ひます。</p> <p>下水道の事故が多発しているのていう意見があると思うのですが、さらっと本市では安心・安全を確保したうえでみたいな文章で終わっているんですけど。埼玉の事故も点検とかがってしてたって言うたと思うんですね。なので本当に安全が確保されているのかって言うのを今一度見直していった方がいいんじゃないかなって言うのを思うのと、もしそれにコストがかかるのであれば市民は納得するんじゃないかなと私は思うので、その辺をきちんと見直された方がいいのかと思ひます。</p>
<p>川原会長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>多分このパブリックコメントの募集時期がちょうど埼玉の事故にあっているのてこのような意見も案外多いのかなと思ひます。ただその中で、私建築屋なので土木とか下水の話はよく分からないです。ただ最近よく言われていることで、建物についてお話しさせていただくんですけど、建物というものは頑固な建物、今の家ってすごく丈夫なんですね。その家をメンテナンスしないともっていかない。私が言われたのは、私は京都生まれで京都市育ちです。京都の町屋に住んでいます。その家と今の家を考えると、全然強さが違うんですよという話をされて。って言うのも未だにその家が持っているのはなぜかという、その人がおっしゃったのは、大工が勝手に入ってきて直しとるからや、というような言い方をされたんですけど、要するにどれだけいいものを、丈夫なものを作っても、メンテナンスをしないともっていかないですよ。これからは色々なものを作るというよりは、メンテナンスをどれだけ定期的にやっけていけるかというのでもっていくんじゃないかなと。って言うので本市としても下水道の整備がすごく早い時期にされてますので、メンテナンスにどれだけかかっけていくんだよ、その重要性の説き方を簡略的に市民の方々にわかりやすい言い方があるんじゃないかなと。先ほどの町屋の話じゃないですけども、町屋って古いんですけどもっているのはなんでって言う。これから何が大事なのかって言うのを説明していくとこういふ意見も減らせるんじゃないかなと思ひます。</p>
<p>委員</p>	<p>結構パブリックコメントってものによりますけどあんまり意見が出てこないケースもあるんですけど、結構そういう意味では貴重な意見が出てきたなという関心は持っています。結構いいことも言われていて下水道事業の中身がわかりにくい人が多いと思うので広報力の向上に努めてほしいって、これまさにこの経営戦略の話をするこの機会に市だけでなく市民の皆さんにも理解していただく絶好のチャンス、少し痛ましい事故もありましたけどそれも後押ししている面もありますので、これ、経営という言葉にくくらないで市民全体へ、市全体</p>

川原会長	<p>で考えていくことなのかなと思いました。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>ほかにかがでしょうか。</p> <p>たくさんパブリックコメントを寄せていただいて、これを審議会の意見とすり合わせていただいて見直しをできるところもある、そうありますけれども、委員の方からおっしゃっていただいたように、これまでよく検討して進めてきているものであり、そういったことを踏まえて進めていくこともできるかなと思っております。なかなかわかりにくいこの下水道会計の仕組みと思っておりますし、また今回の事故のようなことで市民の方の意識ということで、啓発になかなかないんですけれども。やっぱり下水道使用料というものがあたかも公がすべて負担してくれるということを期待するのは難しい時代になってきているのかなと思いますし、まして人が減っていく中でどういうふうな原価の計算をしていくべきかということを考えると、やっぱり丁寧な説明をしながら、投資計画も示しながら、投資と言ってもポンプ場の改修なんかもあるわけですから、それがどれぐらいの規模で、どういうふうなお金がかかるものなのかを具体的に市民の方に見ていただくなりして説明していただけたらなと思います。ポンプ場に一回は行ってみたいですね。どのような状態なのか。耐用年数 15 年を超えている施設を使っているんですから。自動車なんかで考えたときにどうかと思うんですね。もちろん物は違いますけど。ですから先ほど中田委員さんからお話ありましたようにメンテナンスをして上手に使っていくというようなことなんですけれども。</p> <p>ほかにかがでしょうか。</p> <p>ないようであれば、議事（１）の「パブリックコメントの結果について」の審議は終わります。</p>
<b>2 議 事（２） 四條畷市下水道事業経営戦略（案）について</b>	
川原会長	<p>続きまして、議事（２）の「四條畷市下水道事業経営戦略（案）について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;「資料 2 四條畷市下水道事業経営戦略（案）」を説明&gt;</p>
川原会長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、これについてご質問やご意見はございませんか。</p> <p>パブリックコメントを踏まえて、改めてこの案を見て思われることがありましたらそこについてご意見賜ればと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>パブリックコメントの中の作られた赤字っていうのが気になっていて、これ 1 冊を市民の皆さん全員に理解いただくのはとても難しいことだと思うのですが、でもやはりきちんと伝えないといけないと思います。一人一人に理解していただけるような伝え方が大事だと思うのですが、この 1 冊をすべて見てもらうの</p>

<p>川原会長</p>	<p>はすごく難しいと思うのですが、もう少しシンプルに市民に理解していただけるような資料かなにかあれば、皆さんコメントにあったようなことも払しょくされていいと思うんです。いい方法はないのかと思いながら見てました。</p> <p>ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。</p> <p>事務局の方からなにか説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本編、冊子にして作らせていただいておりますけれども、●●委員おっしゃられたところでいくと、全部を読み込むのは大変ですよねというところでご意見いただいたところなんですけれども、概要版とか作られている自治体もありまして、概要版の作成に取り組んでもいいのかと思うのですけれどもいかがでしょうか。</p>
<p>川原会長</p>	<p>委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p>概要版ということで市民の皆様にご報告していただくということも私はぜひともお願いしたいと思う次第なんですけれどもいかがでしょうか。なかなか下水道事業というものが独立採算ということをやりたい文句にしながら実質的にそうならないという歴史的、政治的背景があると私は思うわけなんですけれども。会計としてはそもそも生まれたときから破綻しているような仕組みで、しかも市の財政に影響を及ぼしてやっときてると、私は会計の仕組みからそう思わざるを得ないわけなんです。だから独立採算できてたと本当に言えるんですかと。そういうことも踏まえてじゃあ起債をすればよいとか、一般財源から返済してもらえばよいとか、ずっとそこに依存していけば将来にますます大きなつけを残すわけですから、やはり今の人がいる時代に手を打たなければ、先ほど委員の皆さんから話ありましたようにここ数年したらまた人口が減少していく中で、有収水量も上がらないと、そうしましたら今シミュレーションしているものよりもっと厳しい流れになってきたときにまた、見直しが必要になってくるとそのことも言われていると思いますが委員の皆様いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどおっしゃっていただいた概要版についてなんですけれども、たぶん市民は各家庭にご報告は必ず毎月配られますので、コストはかかるかもしれませんが、そのご報告に挟んでいただくとか、ご報告の紙面に載せていただければ割と皆さん見られると思いますので、良ければそのようにしていただければ皆さんに伝わりやすいかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>その概要版等ですね、わかりやすくご報告を伝えるという面で行きますと、特集ですね、ご報告で特集組んでいただくか、ちょっと折込とかになると費用もかかりますので、そういったところを何かできないかなと事務局の方でも考えておりますので、一定何か対応したいと考えております。</p> <p>概要版の内容につきましては、皆さんに見ていただくの一番いいんですが、一応</p>

